

1 改定都市計画マスタープランの役割と構成 (第1章・第2章)

改定のポイント

- ・「魅力ある拠点」「強靱で回復しやすい減災都市」「脱炭素」などの横断的視点を持って戦略的に都市づくりを進めるため、「都市づくりのテーマ」を設定
- ・周辺区市と連携し東京圏全体の成長に寄与することで、大田区の更なる成長を目指すとともに、メリハリのある拠点を設定し、地形特性と合わせたにぎわいと暮らしやすさを両立する将来都市構造を示す
- ・事業に結びつく具体的な方針において、都市づくりのテーマに加え、新空港線整備を見据えた地域活性化に寄与する沿線都市づくりとの関連を示す
- ・地域の都市づくりに活用できる都市計画マスタープランとするため、地域区分の再編とともに、都市の将来イメージや地域の特性図を新たに記載
- ・着実な都市づくりの実現に向けて、適切な進行管理に向けた検討体制の構築やロードマップを示す

1. 役割

- ・都市計画法第18条の2で定める「市町村（特別区を含む）の都市計画に関する基本的な方針」
- ・他の分野別計画などとも連携を図り、環境や産業、防災など、他の施策を展開するにあたっての、都市づくり分野のガイドラインとしての役割を担う
- ・多様な主体による協働のまちづくりを推進するための指針

<大田区を取り巻く状況>

- ・人口は増加基調だが、老年人口の割合が増加
- ・首都直下地震の可能性や、気候変動に起因する大規模な自然災害の発生
- ・自動運転など各分野の技術革新の進展
- ・羽田空港の重要性の高まり など

【新型コロナウイルスの影響】

これまでの課題を踏まえた方向性を基本とした都市づくりを着実に進めていく一方で、「ゆとりある空間づくり」や「多様化するライフスタイルへの対応」、「脱炭素社会の実現」など、ポストコロナを見据えた経済復興の視点を持って加速させていく必要がある

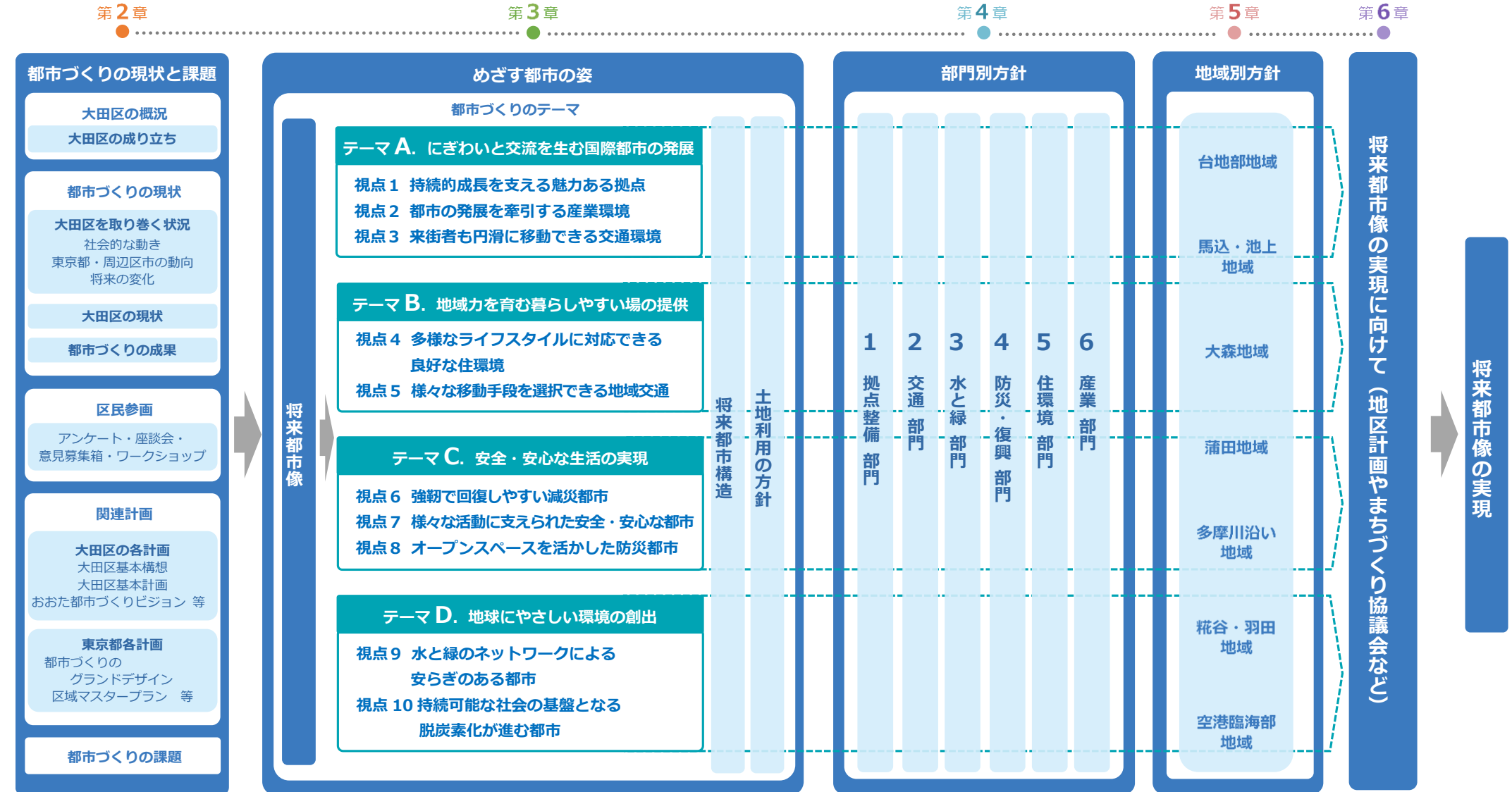
<大田区の現状と都市づくりの成果>

- ・「蒲田駅周辺地区ランドデザイン」等を策定し、拠点等のまちづくりが進捗
- ・京浜急行線連続立体交差事業の事業区間全線高架化
- ・羽田イノベーションシティのまち開き
- ・東西方向の利便性を高めるため、新空港線の整備を推進 など

<都市づくりの課題>

- ・大田区のポテンシャルを活かした広域拠点性の向上
- ・ウォーカブルなまちなかの形成
- ・ライフスタイルの多様化への対応
- ・脱炭素社会の構築に向けた都市づくり
- ・巨大地震や大規模風水害、複合災害への備え など

2. 構成



2 めざす都市の姿（第3章）

都市づくりの課題を踏まえながら大田区の将来都市像を示すとともに、その実現に向けた都市づくりのテーマを設定します。また、テーマを意識した将来の都市の姿・骨格となる「目指すべき将来都市構造」「土地利用の誘導方針」を示します。

1. 将来都市像

大田区基本構想で掲げる将来像や区民参画の成果、将来の変化、現行都市計画マスタープランの理念、東京圏における大田区の役割などを踏まえ、将来都市像を設定します。

将来都市像

「暮らす・働く・訪れる」
大田区らしい多彩な景色が人々を惹きつける

2. 都市づくりのテーマ

- ・将来都市像の実現に向けて、生活の中の人々の活動（ソフト施策）とそれを支える都市基盤整備などの都市計画と深く関わる取組（ハード施策）を織り交ぜた4つのテーマを設定しました。
- ・テーマごとに目指す姿を設定するとともに**区民意見を踏まえた将来イメージイラストを示し、区民をはじめとした様々な主体と目指す姿を共有**しながら、実現に向けて取り組んでいきます。



テーマA
にぎわいと交流を生む
国際都市の発展

- 視点
- 1 持続的成長を支える魅力ある拠点
 - 2 都市の発展を牽引する産業環境
 - 3 来街者も円滑に移動できる交通環境



国際的な雰囲気やにぎわいで
楽しく歩ける街



多様で柔軟な働き方
ができる



テーマB
地域力を育む
暮らしやすい場の提供

- 視点
- 4 多様なライフスタイルに対応できる良好な住環境
 - 5 様々な移動手段を選択できる地域交通



住民主体でアクティブな
まちづくり



自転車やスローモビリティで
行きたい場所に気軽に行ける



テーマC
安全・安心な生活
の実現

- 視点
- 6 強靱で回復しやすい防災都市
 - 7 様々な活動に支えられた安全・安心な都市
 - 8 オープンスペースを活かした防災都市



水害でも安心な市街地



まちのオープンスペースの防災広場

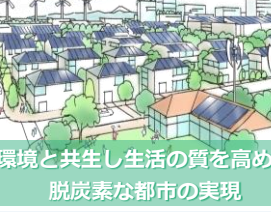


テーマD
地球に優しい環境
の創出

- 視点
- 9 水と緑のネットワークによる安らぎのある都市
 - 10 持続可能な社会の基盤となる脱炭素化が進む都市



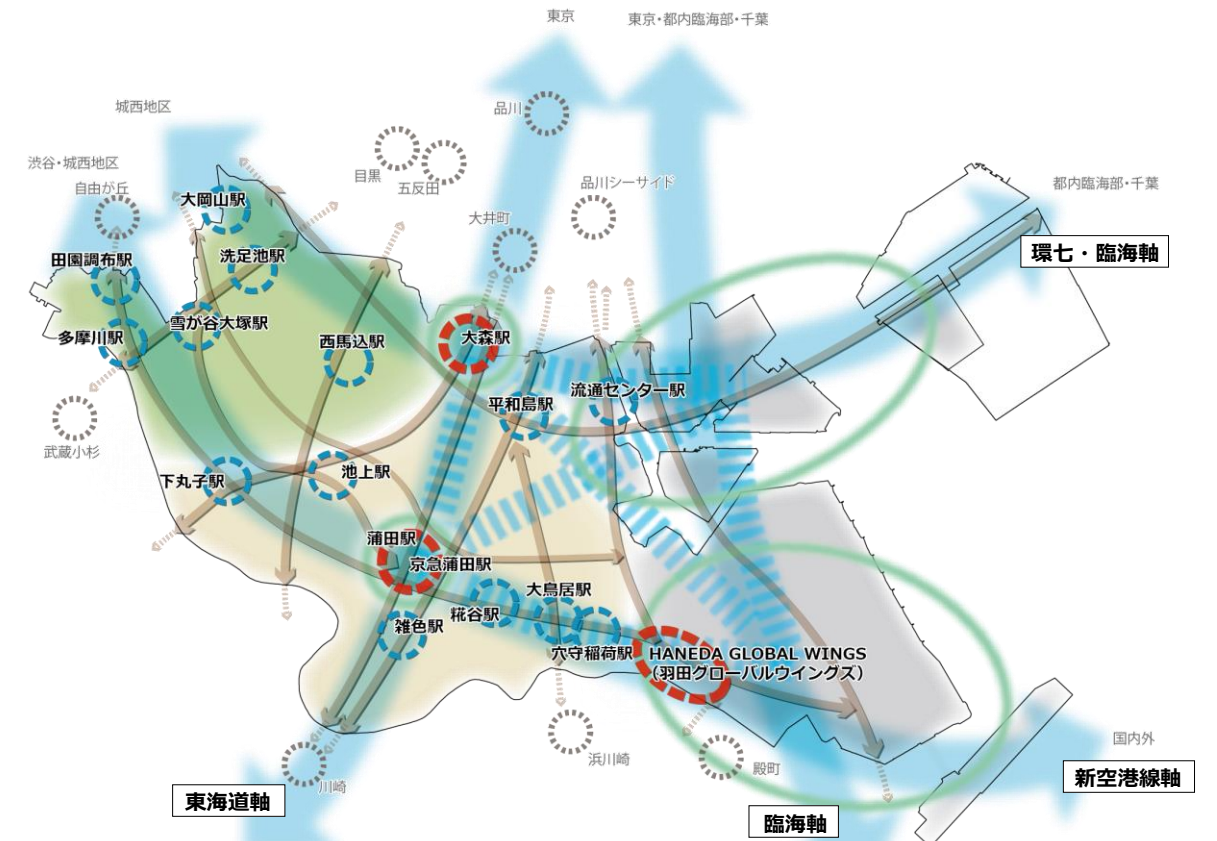
地域の活動が盛んな
魅力的な公園



環境と共生し生活の質を高める
脱炭素な都市の実現

3. 将来都市構造

- ・広域でみた視点では、4つの広域拠点域の連携（蒲田・大森・臨海部・羽田空港周辺）によって、さらなる拠点性の強化・向上を目指すとともに、広域ネットワークの利便性強化を目指します。
- ・大田区でみた視点では、「中心拠点」と「生活拠点」を設定するとともに、拠点間の相互交流によって、にぎわいがあり快適に暮らせる都市づくりを目指します。



4. 土地利用の方針（P.4 方針図参照）

- ・大田区の地域特性に合わせた**現在の土地利用状況を維持しつつ、住環境や産業環境の維持・向上**を図ります。
- ・**地域特性に応じた住宅と工場の調和を推進**していくため、「住工調和型市街地」に加え、「**都市型産業市街地**」を設定します。
- ・新たに編入した**令和島**については、「**港湾・先端テクノロジー実装エリア**」として位置づけます。

3 部門別方針（第4章）

「都市づくりの現状と課題」や「全体方針」を前提に、都市計画と深く関わる大田区全体の取組について、事業に結びつく具体的な方針を示します。都市づくりのテーマや新空港線整備と沿線都市づくりの着実な実現に向け、行政分野との対応関係が明らかになるように、拠点整備、交通、水と緑、防災・復興、住環境、産業、の**6部門を設定**します。

1. 6つの部門方針

部門別方針では、現状の課題や将来の変化を見据えた取組を記載しています。

<新たな取組の例>

「公共空間を活用したにぎわいづくり」

公共空間の利活用により地域のにぎわいづくりと安全住環境形成の両立を目指します。

「先端技術に対応したハード・ソフトインフラの整備」

ニーズに応じて移動手段をきめ細かく選択できる交通環境を目指して、先端技術に対応する交通手段を検討します。

「復興事前準備の推進」

自然災害等の発生時において、住環境をはじめとした都市の機能を維持するため、復興事前準備を進めます。

「環境性能の高い建築物の誘導」

環境性能の高い建築物（公共施設及び住宅を含む）の導入により、脱炭素化を図るとともに安心して住み続けられる都市を目指します。

<関連表の見方>

4つの都市づくりのテーマを実現していくために、関連する部門については●または○を表示しています

横軸で見ると…

主に部局ごとに整理した都市づくり方針を実現していくために必要な横断的視点を示しています。

縦軸で見ると…

各テーマの目指す姿を実現するために必要な部門を超えた連携を示しています。

<テーマと部門の関連表>

部門別方針	A B C D									
	にぎわいと交流を生む国際都市の発展			地域力を育む暮らしやすい場の提供		安全・安心な生活の実現			地球に優しい環境の創出	
1. 広域拠点域の都市づくり	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
① 4つの広域拠点域の連携 <small>新空港線</small>		○	●							
② 広域拠点域の拠点性の向上 <small>新空港線</small>	●	○								
2. 中心拠点の都市づくり										
① にぎわいあふれる中心拠点の都市づくり <small>新空港線</small>	●		○	○						○
3. 生活拠点の都市づくり										
① 個性が光る生活拠点の都市づくり <small>新空港線</small>	○			●	○	○				○
② 観光資源を活用した生活拠点の魅力の向上	●			○						
4. 地区特性を活かした市街地整備の推進										
① 地区の生活を支える市街地整備	○			●		○				○
② ワークスタイルの変化への対応		○		●						
③ 公共空間を活用したにぎわいづくり	○			●						○
④ 公有地等の有効活用	○			●						
5. 環境に配慮した拠点整備										
① 都市開発の機会を捉えた環境都市づくり <small>新空港線</small>	○					○				●
② 効率的なエネルギー利用の促進	○					○				●
③ スマートシティ構築の推進	○	○		○			○			●
④ 都市開発における風の道の確保				○						●
1. 広域連携軸の強化										
① 広域連携軸を構成する道路網の整備	○		●			○				
② 広域連携軸を構成する鉄道等の整備 <small>新空港線</small>	○		●			○				
2. 拠点交流網をはじめとした交通環境の整備										
① 拠点交流網をはじめとした道路網の整備				○	●	○				○
② 拠点交流網を支える公共交通等の利便性向上 <small>新空港線</small>	○			○	●	○				○
③ 鉄道や道路の交差点における安全対策の推進				○	○	○				
④ 歩行者や自転車を主体とした交通環境の整備				○	○	○				○
3. 安全・安心に暮らせる交通環境の整備										
① 生活道路・狭あい道路の整備				○	○	○				○
② 無電柱化の推進	○			○	○	○				○
③ 都市基盤の維持更新			○	○	○	○				○
④ 交通安全の推進				○	○	○				○
4. 誰もが利用しやすい交通環境の整備										
① ユニバーサルデザインに配慮した交通環境づくり <small>新空港線</small>			○		●	○				
5. 多様な移動手段の導入										
① 水上交通ネットワークの充実			●			○				○
② 先端技術に対応したハード・ソフトインフラの整備			○		●					○
③ 様々な移動を網羅した交通計画の策定			○		●					○
6. 環境負荷の少ない交通体系の形成										
① 環境負荷の少ない移動手段の普及促進						○				●
② 環境に配慮した道路整備						○				●
1. 都市に潤いと安らぎをもたらす公園・緑地づくり										
① 拠点公園・緑地の整備	○			○		○		○	○	○
② 地域に根ざした公園・緑地の整備				○		○		○	○	○
③ 地域力を活かしたみどりづくり				○		○		○	○	○
④ 水と緑の保全・育成				○		○		○	○	○
2. 水辺を活かした親水施設の整備										
① 親水緑地整備				○				○	○	○
② 河川の水質浄化対策の推進				○					○	○
3. 水と緑のネットワークづくり										
① 水と緑のネットワークの整備	○			○		○				○
4. グリーンインフラ事業を活用した都市づくり										
① 緑や水が持つ多面的な機能の発揮	○			○		○		○	○	○
② 公共空間の多様な活用によるにぎわいの創出	○			○		○		○	○	○
5. 環境に配慮した水と緑の整備										
① 緑化等による二酸化炭素削減				○		○			○	○
② 緑化等によるヒートアイランド対策				○		○			○	○

●：主に関わるテーマ ○：関連するテーマ

新空港線：新空港線整備と沿線都市づくりに関連する方針

部門別方針	A B C D									
	にぎわいと交流を生む国際都市の発展			地域力を育む暮らしやすい場の提供		安全・安心な生活の実現			地球に優しい環境の創出	
1. 大規模災害に立ち向かう強靱な都市基盤や市街地形成	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
① 骨格防災軸などの整備			○			●		○		
② 木造住宅密集地域をはじめとした市街地整備・改善	○			○		●		○		
③ 建築物の不燃化・耐震化の促進				○		●		○		
④ 風水害・土砂災害に強い市街地の形成	○			○		●		○		
2. 災害時の都市機能の早期回復										
① 橋梁等ライフラインの耐震性の向上			○			●		○		
② 中心拠点や産業集積地域の機能継続・早期復旧 <small>新空港線</small>	○	○				●		○		○
③ 帰宅困難者対策	○					●		○		
④ 災害廃棄物対策						●		○		
⑤ 災害時水上輸送ネットワークの向上		○				●		○		
3. 地域防災力の向上										
① 地域防災活動の支援				○		○		○		○
② 避難場所・避難所の拡充と分散避難対策				○		○		○		○
4. 事前復興都市づくりの推進										
① 復興事前準備の推進	○			○		○		○		
② 復興組織づくりの推進				○		○		○		
5. 環境に配慮した防災都市づくり										
① 災害に備えたエネルギーの確保				○		○		○		○
1. 住環境施策の推進										
① 地域の特性に対応した住環境の保全や改善	○			●		○		○		○
② 良好な住宅ストックの形成と住宅の質の維持・向上	○			●		○		○		○
2. 多様なライフスタイルを支える都市機能の充実										
① 子育て、健康と生きがい、高齢者の視点を取り入れた都市づくり	○			●		○		○		○
② スポーツや健康のための環境整備と活性化	○			●		○		○		○
③ 公共施設の効果的・効率的な施設マネジメントの推進	○			●		○		○		○
④ 地域との連携・協働による都市づくり				○		○		○		○
3. 誰もが利用しやすい公共空間づくり										
① ユニバーサルデザインに配慮した地域づくり	○			●		○		○		○
4. 大田区らしい多彩なまちなみづくり										
① 景観都市づくり	○			●		○		○		○
② 景観づくりのための仕組みづくり	○			●		○		○		○
5. 地域防災力の向上										
① 地域防災活動の支援	○			○		○		○		○
6. 環境負荷の少ない都市の形成										
① 環境性能の高い建築物の誘導				○		○		○		○
② 建築物におけるエネルギー利用の効率化と災害への備え				○		○		○		○
③ 住環境のスマート化	○			○		○		○		○
1. 工業集積の維持・発展に向けた基盤づくり										
① 区内工場立地・操業環境整備	○	●		○		○		○		○
② 産業支援施設の整備・維持管理	○	●		○		○		○		○
③ 住環境と調和、共存する工場の建設の啓発	○	○		○		○		○		○
2. 都市づくりと連携した商業の魅力創出										
① 商業集積によるまちの活性化 <small>新空港線</small>	○	○		●		○		○		○
② 都市づくりと連携した商店街の持続的発展	○	○		●		○		○		○
3. にぎわいと交流を生む観光都市づくり										
① 観光の推進に向けた受入環境づくり	○			○		○		○		○
② 観光案内サイン等の整備	○			○		○		○		○
4. インベーション都市づくりの推進										
① 新たな産業、ビジネスを支える都市づくり <small>新空港線</small>	○	○		○		○		○		○
5. 環境に配慮した産業都市づくり										
① ものづくり産業と連携した環境都市づくり	○			○		○		○		○
② 企業立地の機会を捉えた自立性の高いエネルギーの導入	○			○		○		○		○

都市づくりのテーマにかかる視点

A1. 持続的成長を支える魅力ある拠点

A2. 都市の発展を牽引する産業環境

A3. 来街者も円滑に移動できる交通環境

B4. 多様なライフスタイルに対応できる良好な住環境

B5. 様々な移動手段を選択できる地域交通

C6. 強靱で回復しやすい減災都市

C7. 様々な活動に支えられた安全・安心な都市

C8. オープンスペースを活かした防災都市

D9. 水と緑のネットワークによる安らぎのある都市

D10. 持続可能な社会の基盤となる脱炭素化が進む都市

4 地域別方針 (第5章)

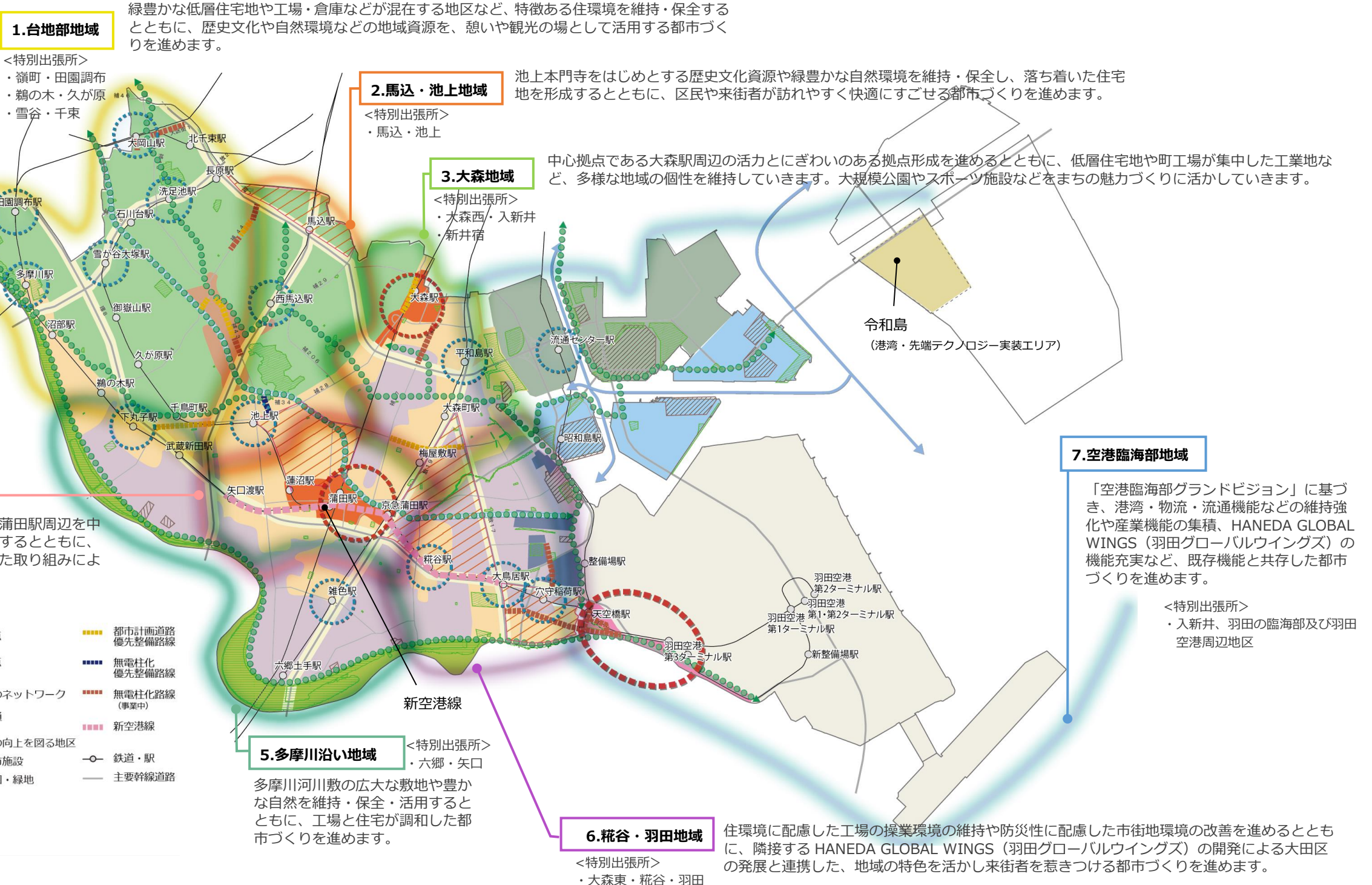
各地域の概況を特性図や人口推移のデータ等で示すとともに、大田区全体の都市づくり方針を前提として地域に限定した具体的な都市づくりの方向性を示すことで、**区民や事業者等が主体的にまちづくり活動を行う際のガイドライン**としての役割を担います。

1. 7つの地域の方針

区民が身近に感じられる 18 特別出張所の所管区域を基本に、人口構成や主たる土地利用等を踏まえ、7つの地域区分を設定して方針を示します。

【地域別都市づくり方針図】

注：地域区分は概ねの境を示したものです。このため、地域の境界は相互に重なって表現されています。



- 凡例
- 住環境保全型市街地
 - 環境維持向上型市街地
 - 住工調和型市街地
 - 都市型産業市街地
 - 幹線道路沿い市街地
 - 中心商業業務市街地
 - 工業維持促進型市街地
 - 物流・流通ターミナル市街地
 - 産業活力展開型市街地
 - 中心商業業務市街地 (HANEDA GLOBAL WINGS)
 - 港湾・先端テクノロジー実装エリア
 - 空港関連用地
 - 大規模緑地 など
 - 中心拠点
 - 生活拠点
 - 水と緑のネットワーク
 - 水上交通
 - 防災性の向上を図る地区
 - 広域都市施設
 - 主な公園・緑地
 - 都市計画道路優先整備路線
 - 無電柱化優先整備路線
 - 無電柱化路線 (事業中)
 - 新空港線
 - 鉄道・駅
 - 主要幹線道路
- 太字：新たに追加した市街地

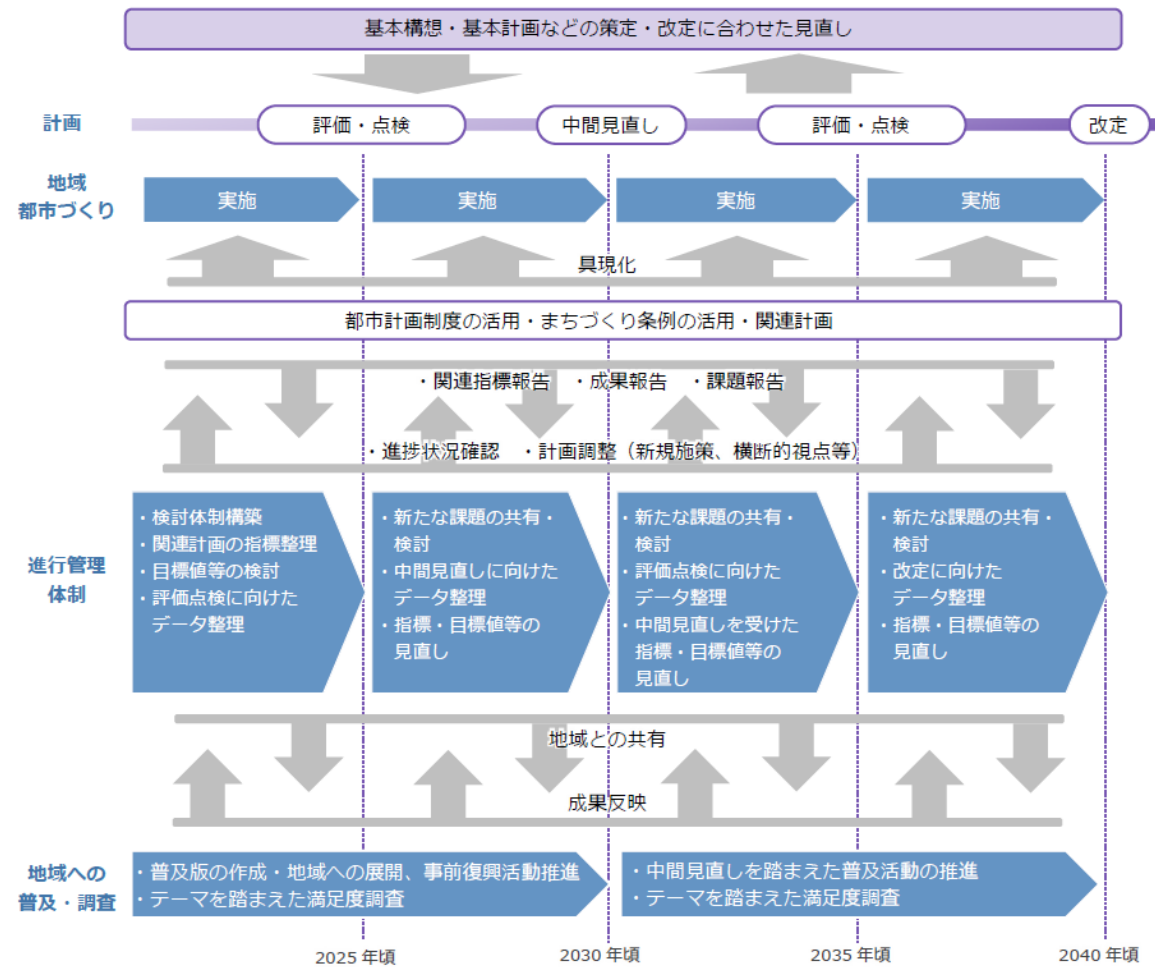
5 将来都市像の実現に向けて（第6章）

部門別方針や地域別方針を踏まえ、将来都市像や都市づくりのテーマの実現に向けて、地域との連携や都市計画制度等の活用といった方策を示します。また、**計画で示す方針を着実に実現していく**ため、進行管理の考え方やロードマップ等について記載します。

1. 都市計画マスタープランの進行管理

- 第3章の都市づくりのテーマで示す目指す姿の実現に対して、統計データや区民アンケート、関連計画の指標などを活用して、**定期的な評価・点検を実施**します。また、評価・点検結果とともに課題や改善に向けた論点を整理し、報告や地域との共有などにより、**都市づくりの進捗状況の見える化**について取り組んでいきます。
- 評価・点検結果や課題改善の状況、地域の都市づくりの進展等に応じて柔軟に見直しを行います。

<進行管理のロードマップ>



<今後の予定>

- 令和3年11月17日 素案公表、パブリックコメント・説明会実施
- 令和4年3月頃 「大田区都市計画マスタープラン」改定

※今後の予定については変更となる場合があります。

参考 区民参画の取り組み

- 都市計画マスタープランの改定にあたって、行政、企業、学生、住民などの大田区に関わる多様な主体の意見を取り入れた計画とするため、区民参画を実施しました。
- 区民参画では、多様な手法を通じて、大田区の未来や地域のまちづくりの方向性などを、大田区に暮らす人、働く人、学ぶ人などとともに考え、意見を伺いました。
- 区民の皆様から頂いた意見やアイデアについては、将来都市像や都市づくりのテーマ、部門方針、地域別方針などに反映します。

2019

改定作業
START

9

アンケート

現行都市計画マスタープランの振り返りや今後のまちづくりの方向性の検討等の意見を、主に区民の皆様を対象にしたアンケートにより集めました。

- 無作為抽出者によるアンケート
実施期間 2019/9/11(水)～9/25(水)
対象 18歳以上区内在住者(無作為抽出 2000名)
- WEB 公開アンケート
実施期間 2019/9/11(水)～10/11(金)



まちづくり座談会

実施内容 区民の皆様が日頃感じている区への想いや可能性について、世代毎に集まり議論することにより、区民視点の課題や機会のキーワードを集めました。まちづくりに関する6つのテーマから関心のあるテーマを選んでいただき、様々な質問をしながら参加者のご意見を伺いました。

実施期間 2019/11/20(水)～2019/12/19(木)

参加団体 シニア、区内在勤者、障がい者、子育て世代、外国人、大学生、高校生(計10団体)



意見募集箱

まちづくり座談会で収集しきれなかった多くの区民目録の長所や課題を集めました。

- 紙面での募集
実施期間 2019/11/11(月)～12/25(水)
設置箇所 特別出張所、図書館、他(全30か所)
- WEBでの募集
実施期間 2019/11/11(月)～12/25(水)
※別途、令和元年度第2回生徒代表者意見交流会で区内中学校28校から意見募集を実施。



2020

1

ワークショップ

実施内容 将来に対して想いのある区民が集まってもらい、互いの自由な発想を重ね合わせることで、20年後の大田区に向けたアイデアやみらいのまちのコンセプトをまとめました。

- | | | |
|-----|---------------------------|--|
| 第1回 | 日時・場所
場所・参加人数
対象テーマ | 2020/1/22(水) 18:30～20:30
大田区消費者生活センター・12名
産業 / 交通 / 住環境 |
| 第2回 | 日時・場所
場所・参加人数
対象テーマ | 2020/1/25(土) 10:00～12:00
大田区消費者生活センター・15名
住環境 / 国際化・観光 / 安全・安心 |
| 第3回 | 日時・場所
参加人数
対象テーマ | 2020/1/26(日) 14:00～16:00
Luz大森・7名
環境・みどり(水辺) / 交通 |



3

ポスター展示

アンケート、まちづくり座談会、意見募集箱、ワークショップを通じて得られた区民の意見や想いを、「区民の考える大田区のみらい」としてまとめ、これまでの区民参画の成果と合わせてとりまとめました。

- 本庁舎1階展示コーナー
実施期間 2020/3/16(月)～3月19日(木)
- WEB 公開
実施期間 2020/3/16(月)～



2021

4

アンケート

現状の大田区のまちづくりに関する満足度と、今後の地域のまちづくりにとって重要だと思う取組や想いについて伺いました。

- 無作為抽出によるアンケート
実施期間 2021/4/2(金)～4/19(月)
対象 18歳以上区内在住者(無作為抽出 2000名)
- 協力団体・WEB 公開アンケート
実施期間 2021/4/2(金)～4/26(月)

